

参院選結果を有権者はどう感じたのか？
7月29日開票がすすむ22:00～の時間から、
インターネットによる緊急アンケート(自由記述式)を実施

インターネット調査の株式会社ゲイン(東京都港区・代表取締役社長:青木克憲)は、2007年7月29日(日)参議院選挙当日の夜22時より弊社モニター会員400人に対し、インターネットで調査を開始しました。本調査は、投票前の気持ちと選挙結果が出たあとの変化について、どう感じたか、を自由記述により聞いたものです。

<注目すべきポイント>

全体的なコメントで頻度が高かったもの

投票前

自民が負けと思っていた:10.0%
自民への不信があった:9.3%
自民が負けて欲しかった:7.0%
民主が勝つと思っていた:5.0%
民主に勝ってほしかった:3.8%
一度、政権交代して欲しかった:3.8%

投票後

予想通り:51.3%
予想以上:19.0%
自民大敗/苦戦:19.0%
民主が躍進:16.5%
満足/うれしい:8.8%

このうち「一度、政権交代して欲しかった」(投票前の気持ち)というコメントが他の性・年代よりも高かったのは「男性20代」「女性20代・30代」

また「一度、政権交代して欲しかった」(投票前)というコメントが投票後どう変わったかという、「国民が期待している」「同じように感じていた人が多かったと思った」「民主に不安」というコメントへの移り変わりが上位となる。

詳細は次ページ以降をご参照下さい。

< 調査方法 >

アンケート実施日 : 7月29日22:00 ~ 7月30日9:00

アンケート集計・分析 : 7月30日 ~ 31日(15時)

調査対象 : 20 ~ 50代の男女400名(弊社モニター会員)

設問内容 : 「参院選の投票に行きましたか？」

・「テレビ番組などから、選挙結果をこの時点で知っていますか？」

・「比例代表選挙でどの政党に投票しましたか？」

・「今回の比例代表選挙の結果について、“投票前に思っていたこと・期待していたこと”と“結果”を比べて、どのように感じたのか。」

という流れで回答を得ていきました。

回答は全て自由記述式で、分析には当社のテキスト分析ツール「Text Eye」を使用しています。

「Text Eye」: ゲインが2007年3月に開始したサービス「NEXT EYE」の中の一つ。慶應義塾大学の深谷昌弘教授とゲインが共同開発した分析ソフト(テキスト意味空間分析法)を活用し、「定性データを定量化し可視化する」サービス。

以上

本調査は「性×年代別」のほかに、「比例代表選挙で投票した政党別」「投票前×投票後のクロス集計(全体)」、「クロス集計(自民党/民主党)」のデータがあります。詳細データが必要であればご一報下さい。

～ 本件に関する問い合わせ ～
株式会社GAIN(ゲイン)
商品グループ 開発・PRチーム
井上、川口まで

URL: <http://www.gain-www.com>

TEL: 03-5776-2821 FAX: 03-5776-2822